

課題の3	ネギ苗の亜リン酸肥料施用調査（継続）
------	--------------------

ネギの栽培において、定植前の苗の根に亜リン酸肥料を吸収させることにより初期生育を促進する効果が報告されている。

初期生育が良くなることは健全な生育や収量の向上につながることから、亜リン酸肥料を施用した定植後の生育を調査し、今後の栽培普及の資料とする。

1 調査内容

- (1) 栽培環境 露地ほ場
- (2) 供試品種 ホワイトソード（タキイ種苗）
- (3) 調査方法

定植前に、亜リン酸肥料『サンピプラス（OAT アグリオ）』1500倍液を底面かん水し、根から吸収させた苗を定植した調査区と、無施用の苗を定植した対照区について生育状況を調査

(4) 耕種概要

- ①播種日：4月1日 264穴チェーンペーパーポット・1穴2粒播き
- ②定植日：5月26日
- ③栽植様式：畝幅100cm 株間2.5cm 栽植本数40,000本/10a
- ④施肥量

区名	肥料名（N-P-K%）	施肥量（成分量 kg/10a）		
		窒素 N	リン酸 P	加里 K
共通	CDU たまご化成 S555（15-15-15）	4.2	4.2	4.2
	燐硝安加里 S646 追肥専用（16-4-16）	16.0	4.0	16.0
	計	20.2	8.2	20.2

※酸度矯正のため、粒状苦土石灰 M-10 を各区に 125kg/10a ずつ散布した。

- ⑤収穫日：11月4日







2 調査結果

各区ともそれぞれ 24 株について、定植 1 ヶ月後の根重を含む生育状況を測定した結果は、表 1 のとおりである。茎径は対照区の方がやや太くなったが、それ以外の草丈、根長、全重、根重、乾燥根重については、亜リン酸肥料を施用した調査区が良かった。

表 1 定植 1 ヶ月後の生育状況 (24 株平均)

区名	草丈 (cm)	根長 (cm)	茎径 (mm)	全重 (g)	根重 (g)	乾燥根重 (g)
調査区	27.2	29.7	9.04	8.4	4.3	0.25
対照区	25.3	27.3	9.15	7.8	2.6	0.21

図 1 草丈と根量の比較

	草丈	根量 (左: 乾燥前 右: 乾燥後)	
調査区			
対照区			

3 まとめ

定植前に亜リン酸肥料を施用した調査区では、昨年度と同様に、定植 1 ヶ月後における根量や根重が対照区より大きく、初期生育を向上させる効果があることが示された。

2年連続して行った結果として、亜リン酸肥料を定植時に底面かん水することで、初期生育が良好になることが示されたため、本調査はこれで終了とする。

〈R1 年度結果 10 株平均〉

区名	草丈 (cm)	根長 (cm)	茎径 (mm)	全重 (g)	根重 (g)	乾燥根重 (g)
調査区	36.6	20.4	7.6	13.2	2.4	0.44
対照区	37.0	20.4	7.2	10.1	2.0	0.38